



森と海の自然科

2023 年 1 月 9 日

大阪七福神めぐり（報告）

Aグループ

1: 日 時 令和5年1月5（木）

2: 集合場所 JR 環状線 玉造駅 北改札

3: 参加者 浅野、伊藤(隆)、伊藤(春)、大石、金戸、河合、川端、木村、権野、杉谷、荘村、東川、西井、秦、福嶋(昭)、藤井、森、山下、倭、以上 19 名

◎この日は晴れ、風もなく穏やかなお天気。 さあ 福嶋さんの案内でご利益をいただきに参りましょう

< 行 程 >

玉造駅

↓ 近道をして玉造筋を横断し歩を進めると前方に神社が現れる。

10:15 寿老神（三光神社）健康長寿

境内に 5 代の天皇に仕え 280 歳まで生きたと言われる武内宿禰の社あり。まさに寿老神！ 七福神豆絵馬買う人も（史跡）「真田の抜け穴」がある。大坂の陣のときに造られ大阪城まで続いていたといわれている。入ってみたい！

↓ 沿道に学校が並ぶきれいな通りを西へ。上町台地を東西に横断している道で地形の変化をリアルに実感できる。

↓ 谷町筋と交わる手前で車道の中央にクスノキ大神。谷町筋を左へ折れ、近松門左衛門の墓（史跡）へ。ビル横の

↓ 路地先にあり、お寺は谷町筋拡幅のため大東市へ移転。谷町筋を渡ると左手に桔梗の紋が付いた建物が見える。

10:55 福祿寿（長久寺）延命長寿

お寺とは思われないコンクリート造りの近代的な建物。新型コロナの感染防止のため入場は 4 人ずつ。厳しい！

↓ 東横堀川を渡り、異国情緒にあふれ、様々な香辛料の漂う島の内界隈へ。

11:25 弁財天（法案寺）知恵財宝

繁華街の中、オアシス的なお寺。聖徳太子が建立したと伝えられている。

弁天さんは山門右手の社に鎮座。

↓ 安井道頓（道頓堀を開削した人物）の碑に立ち寄り、堺筋を南へ。

↓ キャリーバッグを引く外国人観光客が目立つ。黒門市場をとおり過ぎ

↓ 日本橋電気街へ向かうとレトロなビル（高島屋東館）が見えてくる。

11:50 コミュニティーフードホール（高島屋東館 1 階）

静かで落ち着いた場所。ランチタイムをゆっくりと過ごす。

↓ 堺筋を渡り西へすぐ、こんなところにお寺が！

12:55 毘沙門天（宝満寺＜大乘坊＞）金銭融通

パソコンやゲームソフトの店がならぶエリアの一角、中に入ると別世界。

↓ チラシ配りのメイドさんが目立つ通りから南海電車ガードに沿って南へ。

↓ しばらく歩き、右にガードをくぐりウロコの散らばる木津卸売市場の前を

↓ 過ぎると国道 26 号線にでる。向かいに見えるは「木津の大国さん」

13:25 日出大国神（大国主神社）福德開運

参拝客は多い。スーツ姿の人たちが目につく。

境内に木津勘助（江戸時代前期この地の開拓者）の像がある。

↓ 26 号線を大国町で左折、南海電車ガードをくぐると左前方に提灯が並ぶ。

13:45 えびす大神（今宮戎神社）商売繁盛

十日えびすの準備がほぼ終わっている。巨大な賽銭箱は大口を開けて

“もう入れてくれてもええで～”

↓ 浪速警察署前で福娘 7 人とキン肉マンが「110 番の日」のキャンペーン中

↓ しばらく楽しませてもらって東へ、途中「エンマ堂」に寄り、上り坂で

↓ 一心寺を右手に見ながら進み谷町筋を渡ると四天王寺の西門鳥居に着く

↓ 昔人はここから大阪湾に沈む夕日を眺め、西方浄土に心を向けていたと

↓ のこと。右手にのぼりが見える「四天王寺のほていさん」

14:20 布袋尊（四天王寺）笑門来福

この布袋さんは「乳布袋尊」と呼ばれ女性の胸に関する悩みを聞いて下さると人気がある。ここに聖徳太子の乳母さんが住まわれていたと伝えられている。

14:35 解散

（記録・秦）

七福神巡りで一年分のご利益を授かりました。今年も森海全員の皆さまにとって良い年でありますように！



法案寺・弁天さんお社前にて



「110 番の日」キャンペーン福娘



四天王寺境内にて